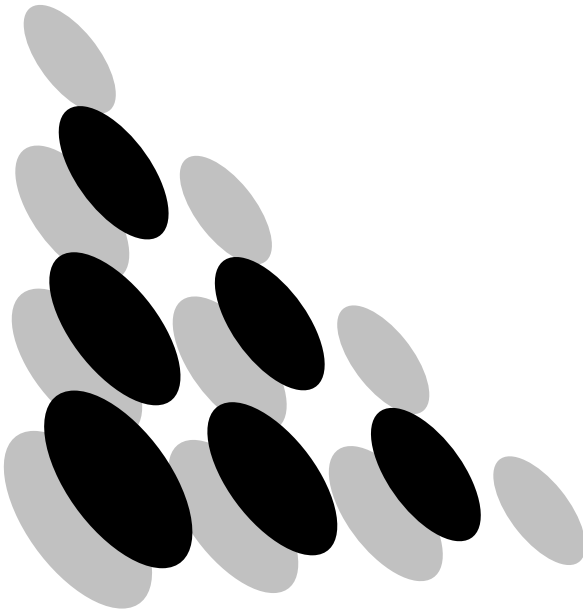


PRIMERGY/GRANPOWER5000
内蔵DATユニット(DDS4)
(GP5-DT401/GP5BDT401)
取扱説明書



はじめに

このたびは、PRIMERGY(プライマジー)GRANPOWER5000用内蔵DATユニット(DDS4)(GP5-DT401/GP5BDT401)をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

本書は、内蔵DATユニット(以下、本製品)の取り扱いの基本的なことからについて説明しています。

お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

梱包物を確認してください

内蔵DATユニット(DDS4)
(GP5-DT401/GP5BDT401)

WIDE SCSIケーブル

SCSI終端抵抗

DATユニット取り扱い注意シート

(DATユニットを正しくご使用いただくために)

CD-ROM(デバイスドライバ)

クリーニングカセット

保証書

取扱説明書(本書)

万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、お買い求めの販売店または弊社担当保守員までお申し付けください。

2000年10月

安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる際は次の点にご注意ください。

本書中の「△注意」には、本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品の取り扱いおよび操作の際には、「△注意」文をよくお読みください。

本書は、本製品の使用中いつでも参照できるよう、大切に保管してください。

△注意 について

正しく使用しない場合、次の危険性があることを示します。

傷害を負う危険性

本製品やサーバ本体が破壊される危険性

WindowsNTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

NetWareは、Novell, Inc.の登録商標です。

会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2000

取り扱い上の注意

△注意

本製品は精密機器ですので以下のことに注意してください。

本製品を分解したり、解体したりしないでください。

以下の環境/場所でのご使用はおやめください。

- ・極端な高温/多湿環境
- ・ゴミや埃(煙草の煙、土埃、排気ガス等)の多い環境
- ・温湿度変化の激しい環境
- ・磁気の影響を受けやすい場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・衝撃や振動の加わる場所
- ・発熱器具のそば

また、同環境でのデータカセットの保管はおやめください。

(次のページへ続く)

寒い場所から暖かい場所に移動したり、室温を急に上げたりした直後は、内部が結露する場合がありますので、お使いにならないでください。結露したままお使いになると、本製品やデータカセットを損傷することがあります。大きな温度変化があったときは、1時間以上待ってから電源を入れてください。

サーバ本体の電源を切るときは、データカセットを取り出してください。

お使いにならないときは、本製品からデータカセットを取り出してください。データカセットを装置に挿入すると、磁気テープの記録面が露出されます。本状態が長く続くと、記録面への埃の付着およびキズ発生の可能性があり、データカセットが永久的に使用できなくなることがあります。また、データカセットを入れたまま本製品を持ち運ばないでください。

データカセット挿入時、無理に押し込まないでください。

内部に液体や金属など異物が入った状態で使用しないでください。もし、何か異物が入ったときは、お買いあげの販売店または弊社担当保守員にご相談ください。

本製品前面の汚れは、やわらかい布でからぶきするか、布に水または中性洗剤を含ませて、軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは避けてください。

バックアップ運用上の留意事項

データの圧縮率は、目安として2倍程度となりますが、データの内容により圧縮率は変化します。ソフトウェアにより圧縮処理されたデータでは、本製品による圧縮効果はありません。

以下により、バックアップ性能が変化します。

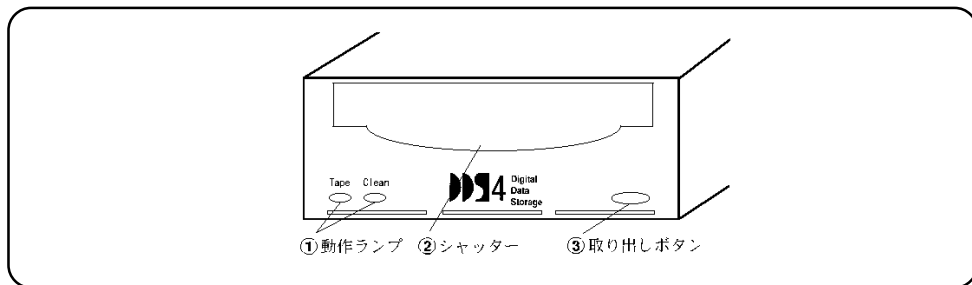
- ・ご使用されるデータカセットの記録面の状態（消耗、汚れなど）
- ・本製品のヘッドの汚れ状態
- ・データの圧縮率

なお、本装置の最大データ転送速度を発揮するためには、CT20000またはCT12000のデータカセットを使う必要があります。

毎日、同一データカセット一巻によるバックアップ運用では、バックアップに失敗した場合、全データが失われる危険があります。複数のデータカセットによるバックアップ運用を行うことにより、トラブル発生時の被害を最小限にすることができます。
例) 各曜日毎のデータカセットによるバックアップ運用をお薦めします。

PRIMERGY ES280、MS380/GRANPOWER5000モデル280、380の筐体カバーを閉めた状態で、バックアップソフトウェア上の媒体排出機能を使用した場合、筐体カバー構造上、本装置のシャッターが開口できず、エラーが発生しますので、取り出しボタンによる媒体排出を行ってください。夜間バックアップ等を実施する場合は、ソフトウェアによる媒体排出機能を使用せず、翌朝、取り出しボタンによる媒体排出を行ってください。また、媒体の記憶容量を超えたバックアップ操作を行った場合、途中で媒体交換が必要となり、媒体が自動排出され、同様にエラーが発生しますので、媒体の記憶容量を超えたバックアップを行わないでください。CT20000媒体のご使用及び圧縮設定することにより、媒体交換なしで1巻で約40GBのバックアップが可能となります。

各部の名称と働き



① 動作ランプ

本ランプは表示状態によって以下の状態を示します。

装置の状態	ランプ表示	
	Tape (緑)	Clean (黄)
テープ未装着	点灯なし	点灯なし
ロード中 アンロード中 セルフテスト中	点滅(0.5s間隔)	点灯なし
テープ装着	点灯	点灯なし
テープ動作中	点滅(0.25s間隔)	点灯なし
クリーニング要求 クリーニングカセット交換要求	- (表示状態は無関係)	点滅(0.5s間隔)
装置故障	- (表示状態は無関係)	点灯

② シャッター

シャッター下部の凸部を上押し、データカセットを挿入してください。

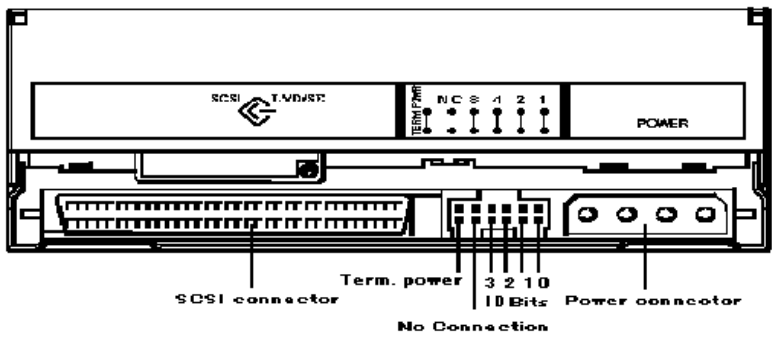
③ 取り出しボタン

データカセットを取り出すときに本ボタンを使用します。ボタンを押して暫くすると、自動的にシャッターが開き、データカセットが排出されます。

注) ヘッドが汚れている場合や、データカセットが消耗している場合は、排出に約1分間要することがありますが、装置の異常ではありません。クリーニングを行ってください。再度、同一現象が発生する場合は、データカセットの交換をお願いします。

SCSI-ID 番号の設定について

サーバ本体に本装置を内蔵する場合、SCSI - ID番号の設定が必要になります。
 SCSI - ID番号は、本装置後面（下図）の短絡プラグで設定し、以下の表のように設定することができます。
 （その他、短絡プラグ(Term.Power、No Connection)は出荷時設定のままとし、変更しないでください。）



ID Bits 3	ID Bits 2	ID Bits 1	ID Bits 0	SCSI-ID番号
オープン	オープン	オープン	オープン	0
オープン	オープン	オープン	ショート	1
オープン	オープン	ショート	オープン	2
オープン	オープン	ショート	ショート	3
オープン	ショート	オープン	オープン	4
オープン	ショート	オープン	ショート	5 *
オープン	ショート	ショート	オープン	6
オープン	ショート	ショート	ショート	7
ショート	オープン	オープン	オープン	8
ショート	オープン	オープン	ショート	9
ショート	オープン	ショート	オープン	10
ショート	オープン	ショート	ショート	11
ショート	ショート	オープン	オープン	12
ショート	ショート	オープン	ショート	13
ショート	ショート	ショート	オープン	14
ショート	ショート	ショート	ショート	15

* 出荷時設定

データカセットについて

本製品には以下のデータカセットをお使いください。

品名	商品番号	記憶容量	出荷単位
データカセットDAT CT20000	0121190	20/40GB	5巻
データカセットDAT CT12000	0121180	12/24GB	5巻
データカセットDAT CT4000	0121160	4/8GB	5巻
データカセットDAT CT2000 注	0121150	2/4GB	5巻

注：復元（リード）のみ可能であり、退避（ライト）は不可です。

〔使用上の注意〕

(1) 使用カセット

上記以外のデータカセットでの退避／復元は、装置または媒体に悪影響を及ぼす可能性がありますので、使用しないでください。

(2) 使用環境

「仕様」に記載の温度／湿度条件のもと、「取り扱い上の注意」をご確認の上、ご使用ください。

(3) 保管環境

以下の環境のもと、専用ケースに入れ、「取り扱い上の注意」をご確認の上、保管してください。

温度：5～32 湿度：20～60%（結露なきこと）

(4) 書込保護

データカセットのデータを保護（ライトプロテクト）するときには、図（丸囲み）のタブをスライドさせ、オープンにしてください。



(5) データカセットの寿命

データカセットは消耗品です。消耗した状態で使い続けると、ヘッドに悪影響を及ぼし、読み書きができなくなったり、装置が故障する原因となります。

お使いになる環境（温度、湿度、埃など）や装置の動作状況により異なりますが、75回の使用または1年（週1回使用の場合）を目安に、定期的に交換してください。

クリーニングについて

本製品には以下のクリーニングカセットをお使いください。

品 名	商品番号	出荷単位
クリーニングカセットDAT - N	0121170	1巻

(1) クリーニング方法

クリーニングカセットを挿入すると、自動的にクリーニング動作が行われ、約35秒後に、自動的に排出されます。

(2) クリーニングの必要性

本製品は、磁気ヘッドによるデータの読み書きを行っており、埃やゴミあるいはデータカセットのテープから発生する磁性粉にてヘッドが汚れていると、以下の悪影響を及ぼすことになります。クリーニングカセットによる定期的なクリーニングを必ず行ってください。

- ・データの読み書きが正常に行われません。
(ヘッドに汚れがこびり付くと、永久的に使用できなくなります。)
- ・データカセットの磁気テープの記録面への汚れの付着、傷の発生により、永久的に使用できなくなります。
- ・データカセットの寿命(使用回数)が減少します。

(3) 定期的なクリーニング

以下の場合に、必ずクリーニングを行ってください。

- ・本製品の使用24時間毎に1回
一般的には、『毎週月曜の朝』などの、定期的なクリーニングをお勧めします。
- ・本製品が未使用の場合でも、1ヵ月に1回
- ・新品のデータカセット挿入前
- ・本製品の“Cleanランプ”点滅時
- ・本製品が内部に持つクリーニングブラシにより、自動クリーニング動作が数秒間行われた場合(機械的な動作音が発生)
注)機械的な動作音は装置の異常ではありません。

(4) クリーニングカセットの交換

クリーニングカセットを本製品でのみ使用した場合、1巻あたりの使用可能回数は約50回です。以下の場合にも、新しいクリーニングカセットに交換してください。

- ・クリーニング後も“Cleanランプ”点滅が止まらない場合
- ・右側のリールにすべてテープが巻き取られている場合(再利用はできません。)
- ・クリーニングカセットを挿入し、1分経っても自動排出されない場合

品名	内蔵DATユニット(DDS4)	
型名	GP5-DT401/GB5BDT401	
記憶容量	20GB(圧縮時平均40GB)	
実効データ転送速度	3.0MB/S(非圧縮時)	
記録密度	122,000bpi	
装置寿命	5年 または 6,000時間	
エラーレート	1.0 × 10 ⁻¹⁵ bit以下(回復不可能なエラー)	
インタフェース	LVD/Ultra Wide-SCSI	
環境条件	温度	稼働時：10～35 休止時：-5～55
	温度勾配	稼働/休止時：15 /H
	湿度	稼働/休止時：20～80% (結露しないこと)

バックアップソフトウェア

本製品は以下に示すバックアップソフトウェアにて使用可能です。

- ・ NTBackup (Windows NT4.0)
本装置に添付のデバイスドライバをご使用ください。
- ・ ARCserve IT6.61 for Windows NT
- ・ ARCserve IT6.6 for NetWare
- ・ SBackup (NetWare/InternetWare)
- ・ ARCserve 2000

PRIMERGY/GPANPOWER5000 内蔵DATユニット(DDS4) (GP5-DT401/GP5BDT401)

取扱説明書

P3FY-0790-01-00

発行日 2000年10月
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権および
その他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
無断転載を禁じます。

④0010-1